

星のたより

2022(令和4)年
12月号
Vol. 339

☆今月の豆知識☆
⤴の字を左右逆にしたような星の並びがよく言われるのが「おひつじ座」。羊の頭の部分の3つの星の並びのことなんだけど、明るい星じゃないから見つけにくいよね。星がよく見えるところだったら、近くに「すばる」があるから、案外見つけやすいんだよ。月明かりがないときがチャンスかな～？



皆既月食&天王星食

～雲はありましたが、観察できました～

11月8日(火)の「皆既月食&天王星食」。残念ながら天王星が隠れるところは、雲で見ることができませんでしたが、出てくるところはばっちり観察できました。前回、皆既月食中に惑星食が日本で見られたのは、1580年7月26日の土星食で442年ぶりとのこと。次回、皆既月食中に惑星食が日本から見られるのは、2344年7月26日「土星食」(およそ322年後)です。



新型コロナウイルス感染拡大防止のお願い

～ご協力をお願いします～

さじアストロパークをご利用の際は、以下の項目にご理解の上ご利用いただきますよう、よろしくお願い致します。開館状況などの最新の情報は、さじアストロパーク公式ホームページ等でご確認ください。

- ◎風邪症状のある方の利用は控えてください。
- ◎入館時、受付で体温の測定をさせていただきます。37.5℃以上の方は、ご利用をお断りすることがありますのでご了承ください。
- ◎館内展示の見学は、お客様同士の間隔を十分に開けて、密集状態とならないよう配慮してください。
- ◎利用者の皆様は、必要に応じマスクの着用や手指の消毒をお願いします。

安心して利用してもらえるように、換気設備を増設して開館中だよ。



イベント★耳より情報

☆新型コロナウイルスの影響で変更となる場合があります。公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆ 「アストロ宇宙写真展」9月22日(木)～12月11日(日)
専門職員が撮影した天体写真を解説付きで展示します。

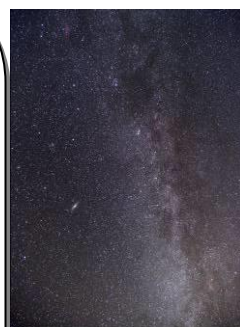
☆プラネタリウム☆ 第1部 専門職員によるライブトーク
第2部 スペースコロニー 9月22日(木)～12月18日(日)
見えない宇宙に挑む 12月21日(水)～2023年2月19日(日)
特別投影 宇宙なんちゃらこてつくん：投影時間帯は、さじアストロパークHPでご確認ください
12月3日(土) 事前予約が必要です

☆夜間観望会☆ ☆12月のテーマとおすすめ情報

宇宙ふしぎ探検「中接近の火星を観察しよう」	1(木)～4(日)
火星、木星	10(土)
宇宙ふしぎ探検「ふたご座流星群を観察しよう」	14(水)
ぎょしゃ座の星団 M37	17(土)
満天の星とすばる	24(土)
観望会で満天の星が楽しめる	14(水)～18(日)、21(水)～25(日)
観望会で月がよく見える	1(木)～4(日)

☆12月の休館日 5(月)、6(火)、12(月)、13(火)、19(月)、20(火)、26(月)、27(火)、
年末年始の休館日：29(木)～1月3日(火)。12月28日(水)と1月4日(水)は、17時15分閉館

※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。



プラネタリウム & 天体観察会

～「星取県」で 昼も夜も星空満喫～

定員25名で実施中

1. プラネタリウム ☆平日3回、土日祝4回投影

さじアストロパークのプラネタリウムは、前半が専門職員によるライブトーク、後半は、テーマ番組を投影しています。観覧の際は、引き続き感染防止にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

冬のテーマ番組「見えない宇宙に挑む」の投影が12月21日から始まります

冬のテーマ番組「見えない宇宙に挑む」が12月21日(水)からはじまります。目で見えない宇宙とはどんな世界なのでしょう？科学の力によって垣間見ることができる宇宙を紹介します。

秋のテーマ番組「スペースコロニー」の投影は12月18日(日)までとなります。

定員25名、要予約で実施中

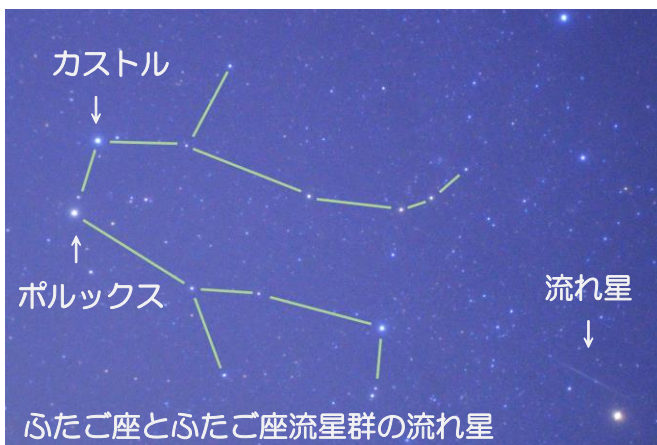
2. 103cm大型望遠鏡で夜間観望会(天体観察会)

103cm大型望遠鏡を使った「夜間観望会」は、現在、曜日に関係なく予約制でおこなっています。新型コロナウイルス感染防止対策として、①定員を25名 ②事前予約 ③マスク着用 ④緊急連絡先の提出 をお願いしていますのでご了承ください。感染防止につきましてはこれまで通りご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。個人の方(お一人からご予約できます)はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は1カ月前までにご予約の上ご利用ください。



12月の注目天体情報

ふたご座流星群は、毎年ある程度の数の流れ星が見られるので楽しむことができます。今年の極大日は12月14日です。午後10時半ごろには月が昇ってきますが、一年をしめくくる流星群を観察してみましょう。



☆見ごろの星座：ふたご座

ふたご座は、誕生星座のなかで最も北寄りにある星座です。そのため、見える期間も長くなります。目印は何といても双子の兄弟の頭で光り、それぞれの名前がついた兄カストルと弟ポルクスです。どちらも一等星といたいところですが、兄のカストルはわずかに届かず2等星です。望遠鏡では、カストルは同じ明るさの星が寄り添う二重星として見るすることができます。

☆ぎょしゃ座の星団M37

冬の一等星の中で最も早く昇ってくるカペラ。そのカペラから少しいびつな五角形をつないでできるのが「ぎょしゃ座」です。月明かりのない夜には、冬の天の川がうっすらとぎょしゃ座の中を流れているのを確認することができます。この天の川に沿ってぎょしゃ座の中ほどには3つの散開星団M36、M37、M38があり、中でも星の数が多くバランスよく星が集まっているのがM37です。比較的明るい星団なので、天の川が見える夜なら肉眼でも確認ができることがありますが、できれば双眼鏡(口径5センチ、倍率7倍程度)があると良いでしょう。



火星が中接近

～ 火星が見ごろ ～

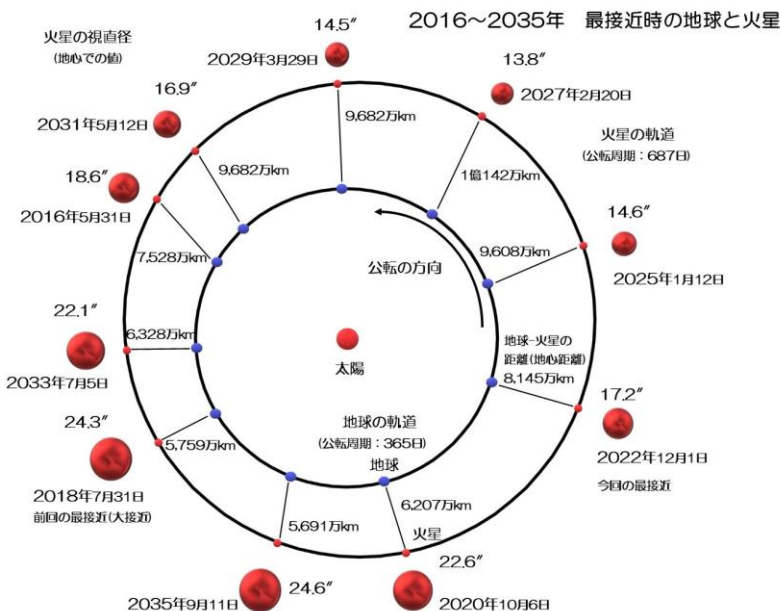
2年2ヶ月ぶりに火星が地球に接近します。今回は中接近と呼ばれる接近です。12月、1月と火星の見ごろが続きます。

火星ってどんな星？

火星は地球のすぐ外側を回っている惑星です。大きさは地球の約半分（直径：6,792.4km）で、公転周期は約1年11ヶ月（687日）です。北極、南極にはドライアイスで出来た極冠があり、1万mを超える山、オリンポス山があります。昔は水や空気があり、生命が誕生していたのでは、とも言われていました。現在、探査機キュリオシティが探査をおこなっています。



今回は中接近 ～ 火星の接近はなぜ起こる？ ～



地球は1年、およそ365日かけて太陽のまわりをまわっています。火星は地球の外側を687日、約1年11ヶ月かけて、太陽のまわりをまわっています。それぞれのペースで太陽のまわりをまわると、2年2ヶ月おきに地球と火星の接近が起こります（左の図、接近前後の数ヶ月間は見ごろが続きます）。そして、火星の通り道はゆがんでいるので、接近した時の距離が変わります。そのため、火星大接近が起きるのは、15～17年に1度しかありません。ちなみに次回の火星大接近は2035年です。

火星の見つけ方

21時ころ、東の空を見てください。赤くて明るい星を見ることが出来ます。現在は、冬の星座「おうし座」の角のあたりに見ることが出来ます。明るさがマイナス1.5等、ということでかなり明るく輝いています。しかも赤い色をしているので、非常に目立っています。

イベント情報

宇宙ふしぎ探検「中接近する火星を観察しよう」と題してイベントを行います。

日時：12月1日（木）～4日（日） 各日20:00～20:50

参加費：大人(高校生以上)600円、小人(小中学生)200円（入館料と観望料として）

定員：25人（事前予約が必要です）

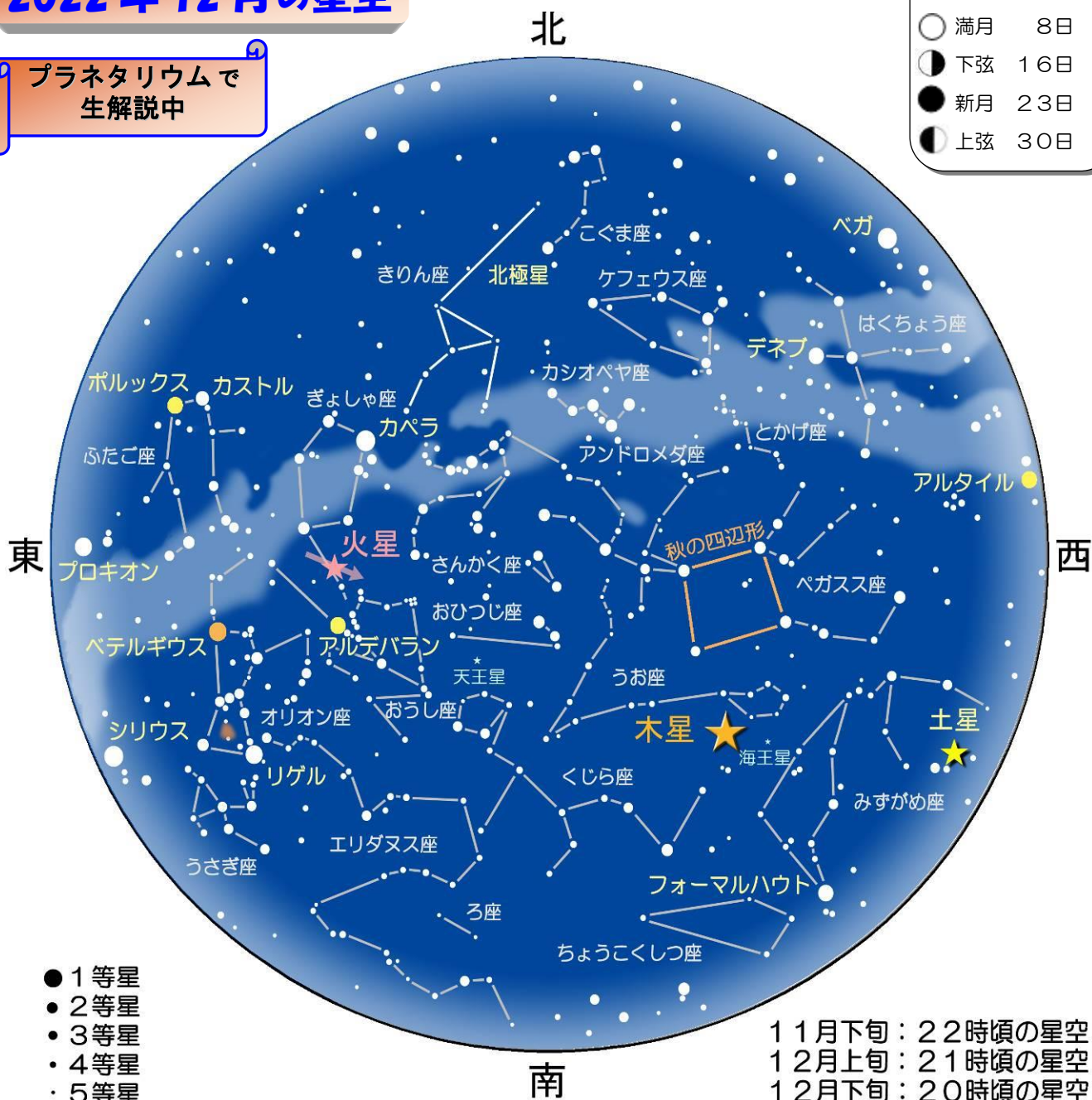
その他：雨天曇天の場合はプラネタリウムを使って、火星や見ごろの星座などについて説明をします。

2022年12月の星空

12月の月の暦

- 満月 8日
- ◐ 下弦 16日
- 新月 23日
- ◑ 上弦 30日

プラネタリウムで
生解説中



☆12月になると、そろそろ雪の心配をしなければならない時期ですね。星空も秋から冬へと変わってきました。温かい服装で無理せず星空を楽しみましょう。

☆明るい星が二つ、南西と南東の空高くに見えています。南西の明るい星が「木星」。私たちの太陽系で最大の惑星で、直径は地球の10倍もあります。南東の明るい星は「火星」。地球の半分ほどの大きさですが、地球に接近中で明るく見えています。オレンジ色に輝いていますので、よく目立ちます。

☆東の空には「オリオン座」が昇ってきました。1等星が二つもある星座ですが、今年は近く火星がもっと明るいので、少し控えめな感じがします。オリオン座の1等星「ベテルギウス」とおうし座の1等星「アルデバラン」は、どちらもオレンジ色に輝く星です。火星と色の違いを比べてみましょう。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観測会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報についてはホームページ&Facebookでチェック。Youtubeも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1
TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103
<http://blog.zige.jp/saji-astro/>
e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp